

外来担当医表

■ 診療受付時間 午前 8:30～11:00
午後 13:00～16:00
※但し、消化器外科は手術の都合により10:00まで
(対診、紹介患者を除く)

■ 外来休診日
日曜日・祝日・各月第1、第3土曜日・年末年始(12/30～1/3)

診療科	月	火	水	木	金	土	
総合内科	午前	池脇淳二	池脇淳二	池脇淳二	吉村亮彦 黒木友希美	池脇淳二 黒木友希美	池脇淳二
	午後	黒木友希美	池脇淳二	池脇淳二	黒木友希美	池脇淳二	
呼吸器内科	午前	中村祐太	橋永一彦	橋永一彦	岸 建志	岸 建志	中村祐太
	午後	岸 建志	岸 建志	中村祐太	橋永一彦	中村祐太	橋永一彦
血液内科	午前	幸野和洋	幸野和洋	幸野和洋	坂田真規	幸野和洋	佐々木人大
	午後	坂田真規	佐々木人大	安部美由紀	安部美由紀	佐々木人大	坂田真規
腎臓内科	午前	有馬 誠	有馬 誠	有馬 誠	幸 奈菜	戸高航平	柳井湧翔
	午後	柳井湧翔			戸高航平	柳井湧翔	
腎CAPD	午前			柳井湧翔	有馬 誠		
	午後			幸 奈菜	戸高航平		
循環器内科	午前	財前博文	財前博文	何松 健	財前博文	財前博文	矢野雄大
	午後	篠崎和宏	矢野雄大	篠崎和宏	吉村咲紀	何松 健	吉村咲紀
ペースメーカー 外来	午後	財前博文	※完全予約制 第2、4週				
冠動脈CT 外来	午後	※完全予約制				財前博文	
消化器内科	午前	永井敬之	中嶋 宏	安部高志	永井敬之	安部高志	児玉紘祐
	午後	田村尚輝		児玉紘祐	木下竜一	馬場貴之	木下竜一
肝臓内科	午前	大河原 均	大河原 均	大河原 均	中嶋 宏	大河原 均	
	午後						
神経内科	午前	荒川竜樹	荒川竜樹	荒川竜樹	竹丸 誠	荒川竜樹	竹丸 誠
	午後						
糖尿病・ 代謝内科	午前	日高周次	日高周次	日高周次	日高周次	日高周次	(非常勤医) (予約のみ)
	午後	岩本貴雅	岩本貴雅	岩本美由希	岩本美由希	岩本貴雅	
小児科	午前	鈴木正義	安部義一	鈴木正義	安部義一	鈴木正義	鈴木正義
	午後	安部義一	鈴木正義		鈴木正義	安部義一	安部義一

がん相談支援センター ご利用案内

受付時間 9:00～16:30
(月曜日～金曜日)
相談費用 無料
連絡先 がん相談支援センター
(TEL 0977-23-7208 地域医療連携室)



診療科	月	火	水	木	金	土	
消化器外科	午前	柴田浩平	野口琢矢	柴田浩平	野口琢矢	柴田浩平	柴田浩平
	午後			松田佳恵		石嶋亮太	
呼吸器外科	午前	阿南健太郎 (予約のみ)	阿南健太郎		阿南健太郎 鎌田紘輔	阿南健太郎	阿南健太郎
	午後	末廣修治 (再診のみ)	末廣修治 (新患のみ)		末廣修治 (再診のみ)	末廣修治 (新患のみ)	
整形外科	午前		瀬口玄治	田仲和宏		(非常勤医)	
	午後						
形成外科	午前	津田雅由	矢野浩規	津田雅由	矢野浩規	矢野浩規	矢野浩規 (再診・予約のみ)
	午後					津田雅由	
脳神経外科	午前	加賀明彦	亀淵洋助	加賀明彦	加賀明彦	加賀明彦	亀淵洋助
	午後						
腎臓外科	午前	山中直行	山中直行	山中直行	山中直行		(非常勤医) (予約のみ)
	午後	高橋美香	高橋美香	高橋美香	高橋美香 (1, 3, 5週)		
泌尿器科	午前						
	午後	※14時～				宮本伸二	
海外渡航外来	午前						
	午後	※完全予約制			西園 晃		
腫瘍内科	午前			大津 智			
	午後			大津 智			
眼 科	午前		(非常勤医)	(非常勤医)		(非常勤医)	
	午後						
放射線治療科	午前	大塚 誠		大塚 誠	大塚 誠		※完全予約制
	午後	米増諒介		米増諒介			
臨床心理科	午前			加藤真樹子			※完全予約制
	午後			加藤真樹子			※完全予約制
緩和ケア外来	午前						※完全予約制 通院中の方のみ
	午後			赤嶺晋治			

※整形外科につきましては、完全予約制になっております。

外来・入院に関するお問い合わせは

地域医療連携室

TEL 0977-23-7208
FAX 0120-097-727

鶴見病院

病院だより*** No. 62

令和6年10月発行



病棟のホールからの景色です。別府湾が一望でき、天気の良い日は青い海がきれいです。遠くに四国が見える事もあります。

8Fのレストランからも見る事が出来ます。ぜひ、鶴見病院から見える景色をご覧ください。

トピックス

- 慢性腎臓病 (Chronic kidney disease: CKD) について
- 外来担当医表 10月より担当医が変更していますので、ご確認ください。

当院は 敷地内禁煙 です。ご協力お願い致します。



慢性腎臓病 (Chronic kidney disease:CKD) について

大分県厚生連鶴見病院 腎臓内科 有馬 誠

はじめに

慢性腎臓病 (Chronic kidney disease:CKD) とは、腎機能障害が糖尿病や高血圧に匹敵する心血管疾患発症の強力な危険因子であることから、2002年にアメリカから提唱された疾患概念です。CKD の早期発見、治療介入により心血管疾患発症や末期腎不全への移行を抑制することが重要です。

腎臓の働きについて

腎臓の働きとして、血液中の老廃物や塩分をろ過し、尿として身体の外に排出することがあります。心臓から流れ込んできた血液が腎臓を通ると、老廃物がろ過されます。ろ過された原尿には、老廃物以外に、アミノ酸やブドウ糖などの栄養素や、塩分 (ナトリウム) ・カリウム・リン・マグネシウムなどさまざまなミネラル (電解質) も含まれています。このような身体にとって必要な成分を再吸収することにより、体内の水分量を一定に保ったり、ミネラルのバランスを調整したり、身体を弱アルカリ性の状態に保っています。

腎臓には老廃物を体外に排出する役割以外に、生体恒常性の維持に関わる各種ホルモンを産生する役割があります。その一つであるエリスロポエチンは、赤血球の産生を亢進させます。慢性腎臓病が進行すると、エリスロポエチンの産生が不十分となり、貧血になります。また、カルシウムとリンの吸収に関与するビタミンDは腎臓で活性化されます。慢性腎臓病が進行すると、ビタミンDを活性化することができず、骨がもろくなり、骨やミネラルの代謝異常をきたします。さらに、腎臓ではレニンという血圧調節ホルモンが分泌されます。このホルモンは血圧上昇作用を持つ物質を作ります。腎動脈に狭窄があると、腎臓への血流が低下するために、レニンの産生が亢進し、高血圧となります。

このように腎臓は非常に大切な臓器であり、機能が低下しないように注意が必要です。

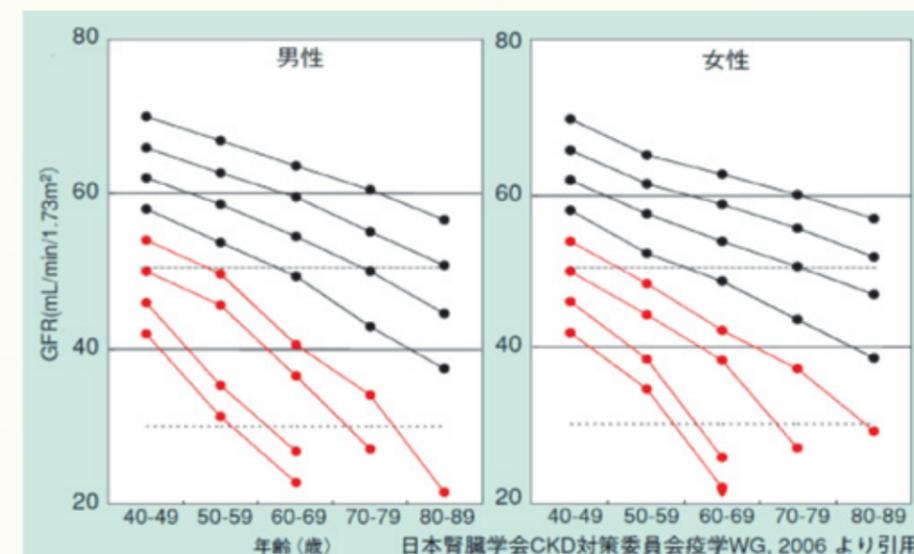
慢性腎臓病 (CKD)

慢性腎臓病 (CKD) とは、「腎臓の障害」もしくは「腎機能低下」が3か月以上持続している状態のことです。腎機能は糸球体濾過量で評価し、年齢、性別、血清クレアチニン値から求められます。糸球体濾過量 60ml/min/1.73m²未満を指します。腎臓の障害の中でも特に尿蛋白が重要です。尿蛋白があると腎機能悪化の速度が速いからです。糖尿病がある方

ではより早期に微量アルブミンによる評価が必要です。日本のCKD罹患率は成人全体で8人に1人ですが、80歳台では2人に1人と高齢になるに従って高くなります (図1)。

腎機能が悪くなると、移植、透析治療といった腎代替療法が必要になります。大分県の透析患者さんの割合は全国でトップクラスであり、早期発見、適切な治療を行うことで進行の抑制を図ることが必要です (図2)。CKDは、糖尿病、高血圧、喫煙、高尿酸血症など生活習慣と関連しており、その発症進展予防には食事管理、適度な運動、禁煙といった生活習慣の是正が大切です。さらに、早期発見し早期治療すれば寛解する場合があります。特に初期の糖尿病性腎症にみられる微量アルブミン尿は、レニンアンジオテンシン系阻害薬を用いた降圧コントロールや厳格な血糖コントロールによって消失することがあります。

図1 加齢に伴う腎機能の推移



鶴見病院

病院だより***

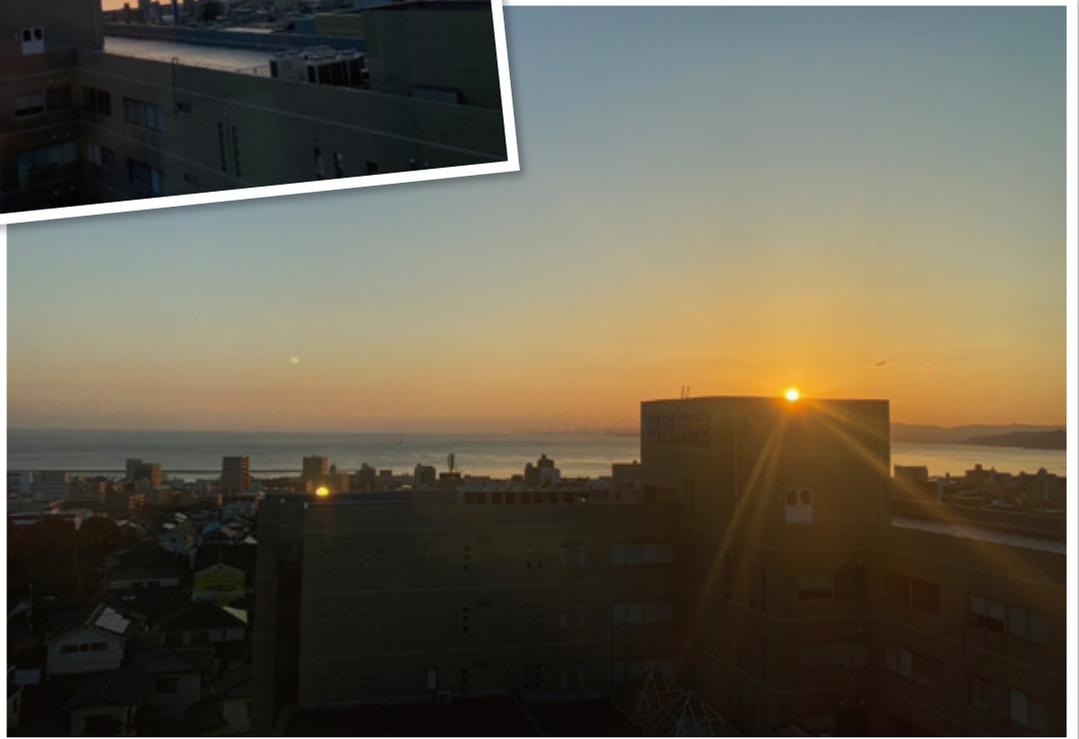
No.
62

令和6年10月発行



病棟のホールからの景色です。別府湾が一望でき、天気の良い日は青い海がきれいです。遠くに四国が見える事もあります。

8Fのレストランからも見る事が出来ます。ぜひ、鶴見病院から見える景色をご覧ください。



トピックス

- 慢性腎臓病 (Chronic kidney disease: CKD) について
- 外来担当医表 10月より担当医が変更していますので、ご確認ください。

当院は **敷地内禁煙** です。ご協力お願い致します。



慢性腎臓病 (Chronic kidney disease:CKD) について

大分県厚生連鶴見病院 腎臓内科 有馬 誠

はじめに

慢性腎臓病 (Chronic kidney disease:CKD) とは、腎機能障害が糖尿病や高血圧に匹敵する心血管疾患発症の強力な危険因子であることから、2002年にアメリカから提唱された疾患概念です。CKD の早期発見、治療介入により心血管疾患発症や末期腎不全への移行を抑制することが重要です。

腎臓の働きについて

腎臓の働きとして、血液中の老廃物や塩分をろ過し、尿として身体の外に排出することができます。心臓から流れ込んできた血液が腎臓を通ると、老廃物がろ過されます。ろ過された原尿には、老廃物以外に、アミノ酸やブドウ糖などの栄養素や、塩分 (ナトリウム) ・カリウム・リン・マグネシウムなどさまざまなミネラル (電解質) も含まれています。このような身体にとって必要な成分を再吸収することにより、体内の水分量を一定に保ったり、ミネラルのバランスを調整したり、身体を弱アルカリ性の状態に保っています。

腎臓には老廃物を体外に排出する役割以外に、生体恒常性の維持に関わる各種ホルモンを産生する役割があります。その一つであるエリスロポエチンは、赤血球の産生を亢進させます。慢性腎臓病が進行すると、エリスロポエチンの産生が不十分となり、貧血になります。また、カルシウムとリンの吸収に関与するビタミンDは腎臓で活性化されます。慢性腎臓病が進行すると、ビタミンDを活性化することができず、骨がもろくなり、骨やミネラルの代謝異常をきたします。さらに、腎臓ではレニンという血圧調節ホルモンが分泌されます。このホルモンは血圧上昇作用を持つ物質を作ります。腎動脈に狭窄があると、腎臓への血流が低下するために、レニンの産生が亢進し、高血圧となります。

このように腎臓は非常に大切な臓器であり、機能が低下しないように注意が必要です。

慢性腎臓病 (CKD)

慢性腎臓病 (CKD) とは、「腎臓の障害」もしくは「腎機能低下」が3か月以上持続している状態のことです。腎機能は糸球体濾過量で評価し、年齢、性別、血清クレアチニン値から求められます。糸球体濾過量 60ml/min/1.73m²未満を指します。腎臓の障害の中でも特に尿蛋白が重要です。尿蛋白があると腎機能悪化の速度が速いからです。糖尿病がある方

ではより早期に微量アルブミンによる評価が必要です。日本のCKD罹患率は成人全体で8人に1人ですが、80歳台では2人に1人と高齢になるに従って高くなります（図1）。

腎機能が悪くなると、移植、透析治療といった腎代替療法が必要になります。大分県の透析患者さんの割合は全国でトップクラスであり、早期発見、適切な治療を行うことで進行の抑制を図ることが必要です（図2）。CKDは、糖尿病、高血圧、喫煙、高尿酸血症など生活習慣と関連しており、その発症進展予防には食事管理、適度な運動、禁煙といった生活習慣の是正が大切です。さらに、早期発見し早期治療すれば寛解する場合があります。特に初期の糖尿病性腎症にみられる微量アルブミン尿は、レニンアンジオテンシン系阻害薬を用いた降圧コントロールや厳格な血糖コントロールによって消失することがあります。

図1 加齢に伴う腎機能の推移

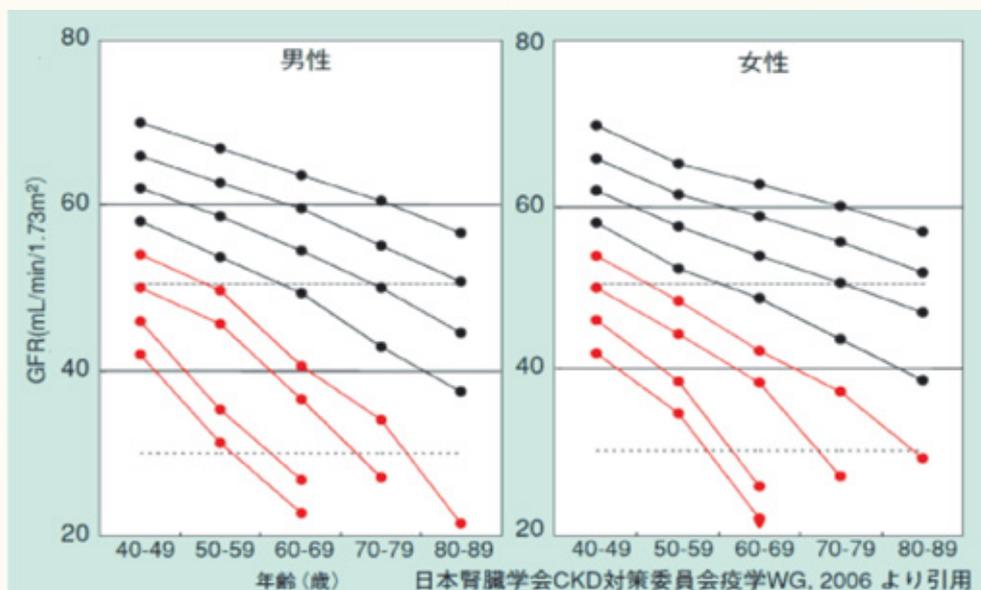
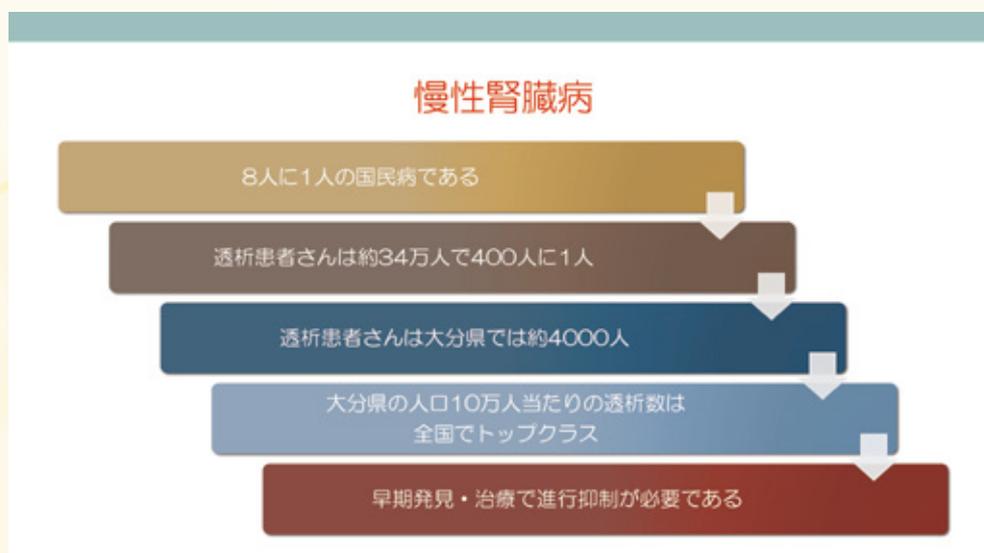


図2



2024(令和6)年10月1日～10月31日まで

外来担当医表

■ 診療受付時間 午前 8:30～11:00

午後 13:00～16:00

※但し、消化器外科は手術の都合により10:00まで
(対診、紹介患者を除く)

■ 外来休診日

日曜日・祝日・各月第1、第3土曜日・年末年始(12/30～1/3)

診療科		月	火	水	木	金	土
総合内科	午前	池脇淳二	池脇淳二 黒木友希実	池脇淳二	吉村亮彦 黒木友希実	池脇淳二 黒木友希実	池脇淳二
	午後	黒木友希実	池脇淳二	池脇淳二	黒木友希実	池脇淳二	
呼吸器内科	午前	中村祐太	橋永一彦	橋永一彦	岸 建志	岸 建志	中村祐太
	午後	岸 建志	岸 建志	中村祐太	橋永一彦	中村祐太	橋永一彦
血液内科	午前	幸野和洋	幸野和洋	幸野和洋	坂田真規	幸野和洋	佐々木人大
	午後	坂田真規	佐々木人大	安部美由紀	安部美由紀	佐々木人大	坂田真規
腎臓内科	午前	有馬 誠	有馬 誠 幸 奈菜	有馬 誠	幸 奈菜	戸高航平	柳井湧翔
	午後	柳井湧翔			戸高航平	柳井湧翔	
腎CAPD	午前			柳井湧翔	有馬 誠		
	午後			幸 奈菜	戸高航平		
循環器内科	午前	財前博文	財前博文	何松 健	財前博文	財前博文	矢野雄大
	午後	篠崎和宏	矢野雄大	篠崎和宏	吉村咲紀	何松 健	吉村咲紀
ペースメーカー 外来	午後	財前博文	※完全予約制 第2、4週				
冠動脈CT 外来	午後	※完全予約制				財前博文	
消化器内科 ※胃カメラの 受付は10時 まで	午前	永井敬之	中嶋 宏	安部高志	永井敬之	安部高志	児玉紘祐
	午後	田村尚輝		児玉紘祐	木下竜一	馬場貴之	木下竜一
肝臓内科	午前	大河原 均	大河原 均	大河原 均	中嶋 宏	大河原 均	
	午後						
神経内科	午前	荒川竜樹	荒川竜樹	荒川竜樹	竹丸 誠	荒川竜樹	竹丸 誠
	午後						
糖尿病・ 代謝内科 ※午後は14時～	午前	日高周次	日高周次	日高周次	日高周次	日高周次	(非常勤医) (予約のみ)
	午後	岩本貴雅	岩本貴雅	岩本美由希	岩本美由希	岩本貴雅	
小児科	午前	鈴木正義	安部義一	鈴木正義	安部義一	鈴木正義	鈴木正義
	午後	安部義一	鈴木正義		鈴木正義	安部義一	安部義一
	午後	鈴木正義	鈴木正義	鈴木正義	安部義一	鈴木正義	
	午後	安部義一	安部義一	(非常勤医)	脇口宏之 (第3週のみ)	安部義一	

がん相談支援センター ご利用案内

受付時間 9:00～16:30
(月曜日～金曜日)

相談費用 無料

連絡先 がん相談支援センター
(TEL 0977-23-7208 地域医療連携室)



診療科		月	火	水	木	金	土
消化器外科 ※受付は 10時まで	午前	柴田浩平	野口琢矢	柴田浩平	野口琢矢	柴田浩平	柴田浩平
	午後			松田佳恵		石嶋亮太	
呼吸器外科	午前	阿南健太郎 (予約のみ)	阿南健太郎		阿南健太郎 鎌田紘輔	阿南健太郎	阿南健太郎
	午後						
乳腺外科 ※完全予約制	午前	末廣修治 (再診のみ)	末廣修治 (新患のみ)		末廣修治 (再診のみ)	末廣修治 (新患のみ)	
	午後						
整形外科 ※完全予約制	午前		瀬口玄治	田仲和宏		(非常勤医)	
	午後						
形成外科 ※受付は 11時まで	午前	津田雅由	矢野浩規	津田雅由	矢野浩規	矢野浩規	矢野浩規 (再診・予約のみ)
	午後					津田雅由	
脳神経外科	午前	加賀明彦	亀淵洋助	加賀明彦	加賀明彦	加賀明彦	亀淵洋助
	午後						
腎臓外科	午前	山中直行	山中直行	山中直行	山中直行		(非常勤医) (予約のみ)
	午後						
泌尿器科	午前	高橋美香	高橋美香	高橋美香	高橋美香 (1、3、5週)		
	午後						
血管外科	午前	※14時～					宮本伸二
	午後						
海外渡航外来	午前	※完全予約制				西園 晃	
	午後						
腫瘍内科	午前			大津 智			
	午後			大津 智			
眼 科	午前			(非常勤医)	(非常勤医)		(非常勤医)
	午後						
放射線治療科	午前	大塚 誠		大塚 誠	大塚 誠		※完全予約制
	午後	米増諒介		米増諒介			
臨床心理科	午前			加藤真樹子		※完全予約制	
	午後			加藤真樹子		※完全予約制	
緩和ケア外来	午前					※完全予約制 通院中の方のみ	
	午後			赤嶺晋治			

※整形外科につきましては、完全予約制になっております。

外来・入院に関するお問い合わせは

地域医療連携室

TEL 0977-23-7208
FAX 0120-097-727